

4. 金山古墳

博物館から南へ8 km のところにある河南町の金山（かなやま）古墳は、まるい小山がふたつつながった、ひょうたんのような形をしています。この形の古墳は日本ではとても珍しくて、朝鮮半島の新羅（しらぎ）という国にたくさんあります。金山古墳に葬られた人は、新羅とつながりを持っていたのかもしれませんがね。

目の前の模型は、金山古墳の内部を本物と同じ大きさを再現したの。亡くなった人を入れる石の棺がふたつ並んでいるわ。この石棺は博物館の近くの二上山（にじょうさん）でとれる、大きな石をくり抜いてつくっているの。こんなに大きな石棺（せっかん）だから、くり抜くのもとても大変だったでしょうね。この石棺は、家の形に似ているから家形石棺と言われているのよ。